

群馬小型で活躍する女性従業員

群馬小型における全従業員のうち、女性従業員数の割合はわずか6%あまり。しかし、さまざまな年代の女性が、それぞれの場所で活躍しています。そんなGKU女性従業員から見た物流業界や、女性が求める働きやすい環境について、語ってもらいました。



進行：川手愛子(本社管理部・部長)
参加者：長野安子さん(本社管理部・経理担当係長) 佐藤晴美さん(本社営業所・一般部門乗務員) 佐藤留美さん(東北営業所・運行管理者)
2014年10月16日/本社会議室

人員不足の物流業界で
活躍する女性従業員

進行：近年、物流業界では、人員不足の問題が大きく取り上げられています。また、一方で、女性の雇用や活躍がさまざまな業界においての課題とされ、女性従業員の活躍推進に向けた取り組みなどが進められています。群馬小型では、皆さんもご承知の通り、雇用拡大への取り組みとして、高卒新人の採用を昨年度より開始し、当年は大卒新人むけのインターシップなどを行っています。今後は、女性従業員の活用を進めていくために、皆さんからお話を伺いたいと思っていますので、よろしくお願います。

長野：当初はパートとして入社し、17年が経過しています。業務は、経理を担当しており、主に乗務員の方々の日報処理や荷主先への請求業務などを行っています。最初は21歳の頃に入社しましたが、以降、10年程勤めていましたが、出産などもあり、一度退社しました。しかし、33歳の頃再度入社し、それからさらに7年以上が経過しています。業務は、本社の一般部門のドライバーをしています。現在は、中型車での乗務がメインですが、大型免許も所有しています。東北営業所開設と同時に入社したので、10月で一年が経過しました。業務は、運行管理者として配車業務を行っています。

長野：東北は、群馬県も身近ではないでしょうか、まして「群馬小型」と言われたら、どんな会社かわからなかったかと思うのですが、応募するにあたり不安はなかったですか？

佐藤：「求人欄に『東北営業所新規開設にあたり』と書いてあったので、既存の東北の会社よりもむしろ働きやすいのではないかと思います。配車業務を行っています。」



それぞれの入社経緯
「資格」「勤務体系」
女性の求める職種

進行：続いて、皆さんの群馬小型への入社動機(きっかけ)などをお聞かせ下さい。

佐藤：就職活動をしている時に、ハローワークで運転手の仕事を探していたのですが、なかなか良いものがなく、それなら以前取得した運行管理の資格を生かせるものがないかと改めて探し始めたところ、群馬小型の求人を見つけたんです。

進行：東北では、群馬県も身近ではないでしょうか、まして「群馬小型」と言われたら、どんな会社かわからなかったかと思うのですが、応募するにあたり不安はなかったですか？

佐藤：「求人欄に『東北営業所新規開設にあたり』と書いてあったので、既存の東北の会社よりもむしろ働きやすいのではないかと思います。配車業務を行っています。」

進行：晴美さんは、どうですか？
佐藤：「当初、知り合いが群馬小型で働いていたのがきっかけです。再入社された時は、また何で群馬小型に入社しようと思ったのですか？
佐藤：「再就職も、ドライバー以外は考えられなかったのですが、ドライバー職を探している中で、他社も見たりしたのですが、結局群馬小型に落ち着きました。群馬小型は、私も含め、出戻り社員が多いですね(笑)。
進行：確かに、乗務員の方の中には数人いますが、理由はそれぞれかまっていますか？一度辞めてしまった会社に戻って来て、再度

働いてもらえるというのは、うれしいことですね。
長野：はい、入社きっかけは、何かですか？
進行：何気なく見ていた折込の求人広告で群馬小型のパート募集を見つけたんです。当時は、下の子が小学校に入学したこともあり、どこか近くで短時間の仕事をと考えていたので、応募しました。昨年新社屋に越してからは、ずいぶん遠くになってしまいましたね(笑)。

進行：現在の物流業界の人員不足における問題は「業界イメージ」「キャリアパスの欠如・不足」「ドライバーの高齢化」「女性の活用不足」と言われています。女性の方から見たご意見をお聞かせ下さい。
長野：以前は、群馬小型にも、もっと女性ドライバーがいましたよね。車であって、そのような仕事を女性ドライバーが担当していましたが、現在は、そのような仕事は会社が多いような気がします。

進行：必要ではなくても、ドライバー経験を生かせるような資格を取っておこうかと思いついて、運行管理試験にチャレンジしました。
進行：乗務員時代と比較して、運行管理のお仕事はどうですか？
佐藤：やはりドライバーよりも勤務時間が、働きやすいと感じます。男性の方が多いためですが、業務内容としては、女性だから難しいというようなこともないし、特にドライバー経験がある方だったら、より効率の良い配車組みなどができると思います。
進行：なるほど。まだまだ少数ではありますが、運行管理者という仕事にも女性活躍の場が期待できますね。



育児や家事に配慮した
働きやすい環境の整備

進行：多くの業界では、女性従業員の活躍推進に向けた取り組みとして、多様な職務へのチャレンジを促すべくさまざまな研修等を受けられる機会を設けるような「キャリア開発」や、仕事と生活の両立を推進すべく休暇制度などの充実をむけた「就業継続の支援」などを行っています。

進行：物流コストを削減するために内製化を進めている企業も多いですね。扱う荷物や車両などのこともありますが、勤務時間帯などについては、どうですか？
佐藤：「やはり時間帯が決まっている仕事の方が、主婦の方とかも動きやすいです。早朝の出動や終了の時刻が遅くなることよりも、日によって就業時間が違う業務というのは、家庭のある女性には難しい気がします。」

進行：群馬小型では、現場で働く女性倉庫作業員として働いている方もいます。従事する場所はいくつかあると思うのですが、留美さんが運行管理の資格を取ったきっかけは何だったのでしょうか？
佐藤：「大型車両のドライバーをしていいたときに、荷量の多さや重さなどを考えると、ずっとこの仕事をやっていくのは難しいのではないかと思っていました。すぐ



長野：今は時間外業務も少なく、負担を感じていませんが、今後の女性活躍などを考えると、より働きやすい環境を整えることは重要だと思います。今は、会社によって色々な就業体系が存在していますが、育児や家事に配慮しやすい環境作りが必要かもしれませんね。今後は、フレックスタイムの導入などを前向きに検討していく予定です。

GKUで働く女性の未来

進行：最後に、5年後の自分、または群馬小型について、ひとことお願いします。
佐藤：「東北営業所は、今は小さなプレハブなので、トイレのあるきれいな事務所が建っていると思います(笑)！」

進行：本日はありがとうございました。